

敦賀市議会

議会だより

11月臨時会
12月定例会

CONTENTS

| | |
|---------------|-------|
| 議会報告会アンケート結果 | 2 |
| 決議 | 3 |
| 令和2年度議会報告会 | 3 |
| 常任委員会審査報告 | 4～6 |
| 常任委員会行政視察報告 | 7 |
| 特別委員会中間報告 | 8～9 |
| 一般質問 | 10～14 |
| 審議結果一覧 | 15 |
| 議会日誌、3月定例会の日程 | 16 |



ご参加いただいた皆様ありがとうございました

議会報告会を開催しました。

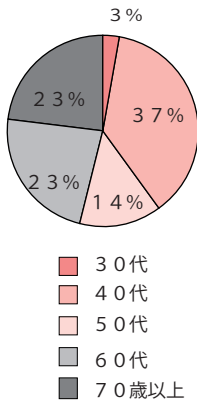
令和元年11月14日に開催された議会報告会のアンケート結果の一部をご紹介します。これまでのすべての結果と、報告書及びいただいたメールでのご意見についてはホームページで公開しています。

11月14日(木)きらめきみなと館にて議会報告会を開催しました。今回は9月定例会の報告の後に意見交換の部を行いました。

今回お寄せいただいた意見を参考に、次回に向けて準備を進めたいと思います。報告会にご参加いただき、アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

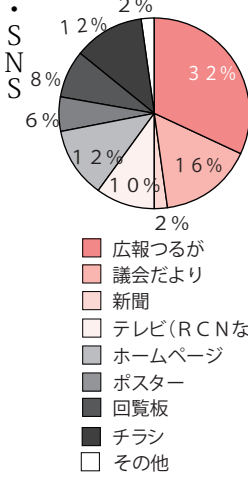
◎アンケート回答者数 30名
(男性22名、女性7名、無回答1名)

◎年齢



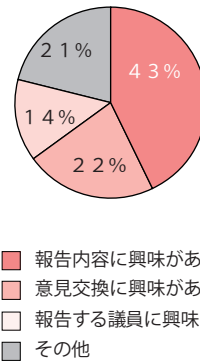
―議会報告会について―

◎議会報告会が開催されることをどのようにして知りましたか？



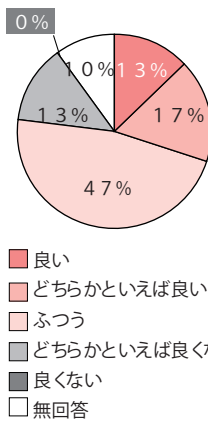
・議員から

◎議会報告会に参加を決めた理由は何ですか？(抜粋)



・報告会がどのようなものか興味があった。
・ムゼウムの運営方針について、指定管理者制度のあり方についてに関心があった。
・百条委員会の調査進捗状況等。
・敦賀市議会の活動を聞きたかった。

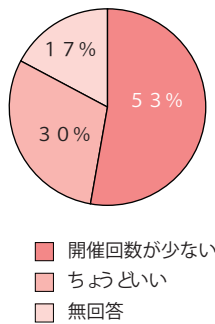
◎今回の議会報告会はいかがでしたか？



◎報告会の内容で、分かりにくかったもの、改善してほしいものは何ですか？(抜粋)

・予算の使われ方をもっと詳しくわかりやすく。
・パワーポイントがわかりにくい。
・具体的な回答が聞かれない。

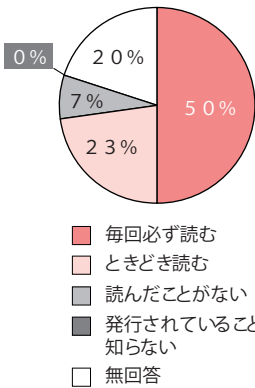
◎今回の開催回数についてどう思いますか？



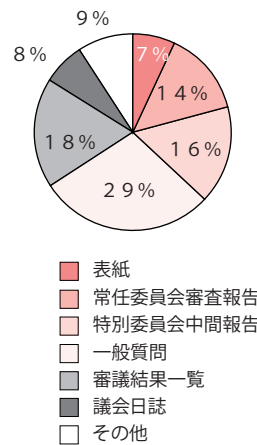
・少なくとも年3回ぐらい。市民と議員との距離が遠すぎるため。

―議会の広報について―

◎年に4回発行される議会だよりを読んだことがありますか？



◎議会だよりの中で好きな記事、楽しみにしている記事は何ですか？



◎議会報告会に関するご意見(抜粋)

・託児はこれからもぜひ継続してもらいたい。たとえ利用がしばらくはなかったとしても「ある」ということが大切だと考える。また、子育て世代、介護世代が参加しやすい時間帯での開催をぜひ検討してもらいたい。
・会場の都合上このような形にならないを得ないと感じたが、以前のようなグループで気遣いなく話し合えるグループ討議の場を設定していただきたい。

・今後とも議会に関心を持つような活動を。逆に言えばこれだけの議会報告会に関心を持っていない敦賀市民の考え方が残念である。形式的な報告会になり、もう少し議論を深められる場になるとよいと思う。

決 議

12月定例会で、議員より決議案の提出があり、全会一致で可決されました。件名及び内容は下記のとおりです。

◎敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会の調査経費の追加に関する決議

令和元年度における敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会の調査経費を、700,000円追加し、900,000円以内とする。

以上、決議する。

令和元年11月26日

敦 賀 市 議 会

令和2年度 議会報告会

託児を行います

5月22日(金)

を開催します！

午後1時30分から

栗野公民館大ホール

午後7時00分から

プラザ萬象大ホール

第1部：議会報告

議会の活動をわかりやすくご説明します。報告内容はどちらの会場も同じです。

第2部：意見交換

日頃感じているみなさんの疑問やご意見をお聞かせください。プラザ萬象では来場者の方には数人ごとのグループに分かれていただき、より近くでご意見をお聞きします。

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

常任委員会審査報告

● 予算決算 ● 常任委員会 ●

〔第103号議案〕

令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第7号）

質疑

◎商店街活性化対策費補助金について

問 本町1丁目商店街アーケード環境整備事業に係る補助事業の財源について伺う。

答 全体の総事業費の731万5千円のうち、2分の1を景観まちづくり刷新支援事業から、4分の1を敦賀市から支援、残りの4分の1を地元負担としている。

◎金山体育館駐車場整備事業費について

問 購入先と、購入する土地の面積や坪単価について伺う。

答 購入先は、直接、土地所有者と交渉している。購入面積は225・40平方メートルで、土地取得額は、令和元年度の固定資産税路線評価額から地価公示相当額を算出し、1平方メートルあたり2万4286円、1坪あたりの単価は約8万9000円となる。

◎債務負担行為保育園給食業務委託料について

問 委託先は、これまでと同様の事業者との契約予定か。

答 現在、プロポーザル方式により、1月に業者募集を行う予定である。現在の委託業者からは、引き続き継続して受託したいとの意思は伺っている。また、他の事業者にもプロポーザル参加の声かけは行っている。



討論

反対 賛成できない事業のひとつとして、保育園給食業務委託料のための債務負担行為補正は、調理業務の民間委託により調理員は決められた業務のみしか行えず、保育の現場で調理師と子どもたちとの間に距離が生まれていることから反対。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

● 総務民生 ● 常任委員会 ●

〔第110号議案〕

敦賀市中池見人と自然のふれあいの里の設置及び管理に関する条例制定の件

質疑

問 ふれあいの里の業務として、「市長が必要と認める業務」とあるが、どのような業務を想定しているのか。

答 運用の中でその都度判断していくこととなるが、現時点では保全活用ボランティアを行う市民への連絡調整や、市の担当部署との連絡、類似施設等から事例照会があった場合の対応など、庶務的な業務を想定している。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定



中池見湿地（天筒山山頂より）

〔第118号議案〕

公立大学法人敦賀市立看護大学の第2期中期目標を定める件

質疑

問 「推薦入試における募集人員の拡大」や「地域枠の設定」を検討するところがあるが、当初は競争原理を働かせて学力の高い学生に求めてもらう狙いがあったと思うが、現在はどうのように考えているのか。

答 第1期生、2期生の就職における市内への定着率は19%程度にとどまっております。市内の医療機関では看護師等の不足が課題となっていることから、定着率が高まるよう、推薦入試の増員や地域枠の設定を検討することとした。また、大学の教育水準については、実績からみても十分に維持できると考えている。

討論

賛成 入試に地域枠を設定することで、敦賀病院の看護師の確保や、市内の看護師がふえることにつながるため、賛成する。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

本会議 [議案の委員会付託]
議案を詳しく検討するため、議長が各委員会へ審査を付託

委員会審査
付託議案の説明→ [質疑]
→議員同士の自由討議→ [討論]
→賛成か反対かを表明→ [採決]

本会議 [委員長報告]
審査を行った各委員会の委員長が、審査の経過と結果を報告
→ [質疑] → [討論] → [採決]

〔請願第6号〕

国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願

意見

消費税率を1%引き下げると、税収が2兆円下がると言われている。これから社会保障に経費がかかる中、持続可能な社会を築くためにも、消費税率を引き下げるべきではない。

意見

市民から、税率が上がって苦しんでいるという声をたくさん聞いている。消費税の不公平感は拭えず、増税分が全て福祉政策に充てられているわけでもないため、引き下げに賛成である。

採決

賛成少数
不採択とすべきものと決定

産経建設
常任委員会

〔第119号議案〕

指定管理者の指定の件
※敦賀市農産物直売所

質疑

問 募集に対して、何件の応募があったのか。また、指定管理者となる企業組合敦賀マルシェは、何名が所属しているのか。

いるのか。

答 応募してきたのは、現在の指定管理者である企業組合敦賀マルシェの1件のみであり、現在137名の会員が所属している団体である。

討論

賛成 企業組合敦賀マルシェは、現在も指定管理者として敦賀市農産物直売所を管理しており、収入等が管理運営費を上回っているため市に納付金を納めている。指定管理料も現状と比較して金額が抑えられ、評価委員会でも十分な得点を獲得している。指定管理者として適格者であるため賛成である。

採決

全会一致
原案どおり認めるべきものと決定

〔第114号議案〕

敦賀市グラウンド・ゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件

質疑

問 市内に住所を有する者と市外に住所を有する者は、もともと料金に差があるにもかかわらず、今回、増額の幅が同じ20円なのはなぜか。

答 現在の市内料金600円と市外料金800円は消費税8%が含まれた金額であるため、それぞれ消費税8%分を除いた金額を算出すると、市内料金は555円、市外料金は740円となる。これに、消費税10%分を上乗せすると市内料金は611円、市外料金は814円になるが、利用者の支払い時の利便性と施設の収支状況を検討し、さらに、指定管理者からの要望もあることから、1円単位の金額を切り上げ処理し、それぞれ市内料金620円、市外料金820円としたものである。

討論

反対 消費税増税に伴う増額であり、利用者の負担がふえることにつながるため反対である。

賛成

消費税10%に対応するための増額であり、端数の切り上げ処理を行った理由も理解できた。10月の消費税増税とタイミングを合わせたほうがよかったようにも思うが、増額に向けた周知期間を十分に設ける必要があるとし、改正の時期を4月からにするとのこと、市の考え方は十分に理解できることから、今回の条例改正には賛成である。

採決

賛成多数
原案どおり認めるべきものと決定

〔第121号議案〕

新幹線駅前広場整備事業用地取得の件

質疑

問 今回、取得する用地は、駅舎と木の芽川に囲まれた、駅前広場を整備する場所とのことだが、坪単価はいくらで、契約の相手方は一社だけになるのか。

答 1平方メートルあたり2万円で契約を進めているため、坪単価にすると約6万6千円になる。用地取得の前に測量を実施し、詳細に地権者を調べたところ、今回の買収対象地の地権者はJR西日本のみであったため、契約の相手方はJR西日本一社である。

討論

賛成 新幹線敦賀駅の開業時に敦賀の顔となる場所であり、駅前広場の計画的な整備に向けた用地取得であるため、賛成である。

採決

全会一致
原案どおり認めるべきものと決定

文教厚生 常任委員会

〔第99号議案〕
角鹿小中学校校舎新築工事請負契約の件

質疑

問 入札要件を広げたことにより、工事の監理要件や品質が緩くなると困るが、どのように監理していくのか。

答 国土交通省が定めている基準にのっとり、注意しながら監理を進めていく。また、通常は住宅政策課で監理をしているが、外部の監理者も含め万全の体制で監理を進めていきたい。

討論

反対 角鹿小中一貫校の建設そのものに反対である。

賛成 監理・監督についてしっかりと行っていたとき、契約金額についてはこれ以上、上がらないように注意してほしい。また、一者入札の取り扱いについて今後しっかりと点検し、見直すことを含めて賛成とする。

賛成 不安な点がすべて払拭されたわけではないが、入札の方法や有効性については現時点では確保されて適正に執行されたものであり、契約金額内の要求する品質を確保した上で、工事完成ができると市が責任をもって判断したと答弁をいただいたので、これを信用して認める。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第115号議案〕

敦賀市病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件

質疑

問 敦賀病院駐車場の目的外駐車を減らすことが目的であるとのことだが、治療する方の負担もふえることになるのではないか。

答 透析やがんの化学療法等、長時間治療が必要な方については今までと同様の8時間までは100円の減免措置を講じ、その他の場合は4時間まで100円という新しい料金システムで運用する。

討論

反対 食事の介助等、高齢者に付き添っている家族にとつては負担がふえるので賛成できない。

賛成 減免制度をしっかりと運用し、目的外駐車をやめさせてほしい。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

〔第120号議案〕

総合運動公園陸上競技場改修工事その3請負契約の件

質疑

問 備品についても3種公認に関係があるのか。また、3種公認へ向けた陸上競技場の改修がこれで終わるが、3種公認までのスケジュールについて伺う。

答 備品も審査の対象となるので来年度当初予算で計上し、陸上競技場及び備品を整えてから公認検定委員に審査をしてもらうことになる。予定では8月末に工事が終了し、9月には公認検定の手続きをとる計画をしている。

採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

請願・陳情は どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民のみなさんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会で内容を確認し、全会一致で認められたものは、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります。それ以外は全議員に写しを配付します。

※郵送による陳情は認めておりません。

※請願、陳情の処理結果については、後日文書にて提出者に通知します。

〔書式例〕

| | |
|------------|-----|
| 年月日 | |
| 請願（陳情）書 | |
| 敦賀市議会議長 殿 | |
| 紹介議員（請願のみ） | |
| 住所 | ……… |
| 氏名 | ……… |
| ………について | |
| 請願（陳情）趣旨 | ……… |
| 請願（陳情）事項 | |
| 1 | ……… |
| 2 | ……… |

行政視察報告

総務民生常任委員会 (10月23日～25日)

総務民生常任委員会では東京都福生市、武蔵野市、宮城県富谷市へ視察に行きました。

東京都福生市「防災食育センター」は、平常時は食育学習機能を持つ学校給食センターであり、災害時には避難所・防災拠点・備蓄倉庫・応急給食機能を持つ防災施設となる理想的な施設でした。備蓄米を米飯給食に使用し補充する仕組みや、貯水タンクから水を使用し常時水を備蓄する仕組みなどができている、給食センターの機能を炊き出し機能に活用します。敦賀市においても給食センターの老朽化が課題となっていますが、今後は防災拠点としての機能を併せ持つ施設作りも必要となってくるのではないかと感じました。

東京都武蔵野市「武蔵野クリーンセンター」は、市街地の中心部に位置し、市役所に隣接したごみ処理施設で、ごみの減量化や環境保全への市民意識の高さを感じる開かれた施設でした。最新鋭のプラント設備を導入し、焼却熱を利用した発電や、焼却灰のリサイクルなど先進事例を視察しました。施設の運営方式や安心・安全な施設づくりに向け

た取り組み、ごみ減量化等による環境保全についてなど様々学ぶことができました。敦賀市において新設予定のごみ処理施設の建設に大変参考になりました。

宮城県富谷市では「低炭素水素サプライチェーン構築に向けた実証事業」を展開しており、水電解装置や水素貯蔵タンク、純水素燃料電池での利活用現場を先進事例として視察しました。生協との連携によって、水素エネルギーの配送・供給がサプライチェーンの実現をより可能にしていることを実感しました。また教育現場での利活用や次世代の育成など、実用化に向け着実に計画が進展していると感じました。敦賀市における今後の課題として生かしてまいります。



宮城県富谷市の水電解装置を視察

文教厚生常任委員会 (10月23日～25日)

文教厚生常任委員会では、鹿児島県出水市、鹿児島県始良市、福岡県大野城市を視察してきました。

鹿児島県出水市では小規模特認校について視察してきました。出水市では平成16年より小規模特認校制度を導入しており現在は5校で運用されています。そのうちの3校は校区内の児童生徒よりも特認生の方が多いということです。成功の秘訣は地域の方々の協力だということです。



鹿児島県始良市の学校給食メニュー

鹿児島県始良市では食品ロスを少なくする取り組みを視察しました。学校給食作成時に排出される食品ロスを減らすために調理師対象に勉強会を開催したり、食べ残しを減らすためにメニューを工夫する等多くの改善をされていました。地元食材を使った取り組みも大変興味を持ってました。



福岡県大野城市の子ども食堂について視察

福岡県大野城市では子ども食堂の取り組みについて視察しました。子どもの貧困救済ではじまった子ども食堂ですが現在では地域の方とのコミュニケーションツールとしての役割も担っています。公民館を利用して子ども食堂を開催することにより地域のお年寄り子どもたちが仲良くなれたり、親同士のコミュニケーションの場としても活躍しています。敦賀でも2カ所で子ども食堂が運営されていますので今後もっと広がっていくように支援していきたいと考えます。

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

原子力発電所
特別委員会

日本原子力発電株式会社関係

質疑

問 敦賀発電所2号機について、以前審査資料に不備があったとの報告がなされた後に、さらに不備が確認されたとのことだが、現在審査されている資料は間違いのないものなのか。

答 直近の審査会合において、再発防止対策も含めて原子力規制庁の確認を受けていることから、現在の資料については、間違いはないものと認識している。

美浜発電所3号機について

質疑

問 美浜発電所3号機の工事中に吊り上げたコンクリートの下半分が割れ、隣接する足場上に落下し、作業員が負傷した事故について、担当課だけでは技術的な指導を行うことは困難であると思うので、庁内の建築の専門家に確

認をとりながら指導する必要があると思うがいかがか。

答 担当課としてできる範囲で指導をしているところであるが、今後は、庁内の知識を有する職員の意見も取り入れながら事業者への指導に取り組んでいきたい。

〔請願第7号〕

老朽原発再稼働に関する請願

※老朽原発を再稼働させないよう求める請願

意見 原子炉の中にサンプルを設置し、定期的に取り出し調査をすることで、安全性の確認をしている。安全性を担保された上で再稼働を行っているので、今の状況を鑑みると要望する必要はないと思う。

意見 新規制基準は重大事故を防止するための基準だけではなく、重大事故が起きた場合にどう対応するのかという基準でもある。避難計画については実行性がなく、アメリカでは住民避難が困難と明らかになった原発は稼働することなく廃炉になっている。こういったことから新規制基準で安全が守られるわけではない。また、サンプル調査結果を明らかにしないことは問題である。

意見 老朽原子力発電所の危険性については、現在規制庁が新規制基準適合性審査を行っている。また、その安全性については議会から国に対し要望している。

討論

反対 サンプルの調査データが公開されないことや、規制基準が不十分だということであればそれを改正することが大事である。しっかりと安全対策をとった上で再稼働すべきと考え、日本の国益、環境のためにも原子力発電所は必要だと思うので反対である。

賛成 原子力発電所は古ければ古いほど危険性が高まる。その中で原子力発電所を再稼働すると子どもや孫に安心して住み続けられる敦賀を残すことができないので請願に賛成である。

反対 40年を超えない原子力発電所でも危険という考えもあるので、規制庁の審査を通ったものを再稼働させていくべきである。

採決

賛成少数
不採択とすべきものと決定

〔請願第8号〕
不正資金還流の真相究明をもとめる請願

意見 関西電力では第三者委員会を設置し調査しているので、2重3重に求める必要はない。また、要望内容については、すでに関西電力は取り組まれている。調査結果が不十分であり、敦賀市にも影響があれば求める必要があると考え、現時点では必要がない。

意見 関西電力の問題について全容解明するためにも請願を採択し、さまざまな自治体から求めることが大事である。

討論

反対 関西電力、高浜町及び福井県がしっかりとした調査を行っているので敦賀市議会から要望を出す必要はないと考えるので反対である。

賛成 全県で対策し、関西電力に全容解明と関係者の厳正な処分、再発防止策の策定と実施を求めるべきであると思うので賛成である。

採決

賛成少数
不採択とすべきものと決定

新幹線対策 特別委員会

北陸新幹線駅前広場の整備について

深山トンネル、新幹線駅舎・駅前広場整備予定地の現地視察を行った。

深山トンネルでは、トンネル内約290メートルまでの掘削状況や、掘削土の仮置き状況、トンネル坑内からの排水等の処理状況が適正であることを確認した。新幹線駅前広場の現地では、工事の進捗と、各機能の整備予定位置を確認した。

質疑

問 ローターリーは一方通行か、対面通行か。

答 片側一方向、一周245メートルの計画となっている。

問 木の芽川の増水時における新幹線駅前広場全体の排水対策はどう行うのか。

答 貯水機能のある排水路を地下に設けることで、水量が多いときは貯水し、水量が落ち着いてきたら徐々に流せるようにしている。

市庁舎建設対策 特別委員会

地中熱交換井について

ボアホールと呼ばれる縦穴にチューブを差し込み不凍液を循環させ、平均温度およそ18度の地中熱を吸収し、新庁舎の空調に利用する。

質疑

問 現在と、地中熱交換井が稼働したものの電気代の比較について伺う。

答 空調システムには中央熱源と個別熱源があり、中央熱源は、扉で仕切られていない廊下や執務スペース全体といたった共用スペースに充てる。個別熱源は、扉で仕切られている会議室等々につけているエアコン等、部屋単独で稼働させることができる。現在の空調システムと地中熱を使った空調、その中央熱源において光熱水費を比較すると、現状のシステムは、地下で灯油を焚いて空調を動かしており、年間で865万円かかっている。地中熱を使用した空調で試算すると約350万円になり、約60%近く圧縮できることになるが、空調以外の電気代は別である。

敦賀きらめき温泉リラ・ポートの 指定管理に係る調査特別委員会

委員会の調査経過について

10月28日第3回委員会
・行政及び指定管理者に求めていた記録の提出を受けた。
・法的整理を行うべき事項に対し、弁護士等の助言等が必要であるため、調査経費を増額する方向性で必要経費を精査すること、また、弁護士を選定は正副委員長に一任することを決定した。

11月14日第4回委員会

・弁護士を選定について、福井市の弁護士に依頼する方向性となった。
・必要経費を精査したところ、調査経費を当初の「20万円以内」から「90万円以内」とするため、決議案を提出することを委員会で決定した。決議案は、12月定例会開会日に本会議において可決された。(3ページに掲載)
・提出された各資料から確認すべき点を抽出し、照会をかけることに決定した。

11月29日第5回委員会

・井花法律事務所との井花正伸弁護士と11月26日付で契約した。

照会 「年間300万円の施設修繕費の残額を毎年度ごとに返還を求めたか。」

回答 「平成26年度から平成28年度において、修繕費残額の返還がされたことはなく、また、市も失念により返還を求めていない。」

修繕費の返還を求める義務の有無について、法的な確認をする。

照会 「引き継ぎ指示範囲の解釈と、どのような引き継ぎの指示を行ったか。」

回答 **現指定管理者弁護士** 「動産と債務の継承は別途個別に検討すべきと主張するも、相手方は債務の継承も求めたことから協議は平行線をたどり、明確な合意が得られないまま、相手方が事実上倒産した。」

回答 **旧指定管理者弁護士** 「引き継ぎの調印に至った記憶はないが、債務を除いては引き継ぎでもめた記憶はない。実質的に引き継ぎは完了した。」

回答 **行政** 「施設及び付随する設備の引き渡しを含め、リラポートの管理運営ができる状態までには引き継ぎが行われた。売上月報や売上帳票等の書類等については引き継ぎされなかったものがある」と認識している。」

指定管理者間の引き継ぎについては、認識が異なる部分も見受けられ、引き継ぎ等に係る指示が適正なものだったのか等、今後も調査を進めていく予定である。

一般質問

12月4・5・6日の3日間、17人の議員が一般質問を行いました。
(太字部分は紙面掲載)

一般質問 項目一覧

- ◎林 恵子 議員
 - 1 アレルギーを持つお子さんへの対応について
 - 2 幼児教育・保育の無償化による子育て支援の影響について
 - 3 中池見湿地について
- ◎山本 貴美子 議員
 - 1 保育料の無償化と給食について
 - (1) 待機児童の問題
 - (2) 3歳以上児の給食
 - 2 子どもたちの居場所、豊かな放課後について
 - (1) 放課後児童クラブ
 - (2) 児童館
 - (3) 公民館
 - 3 いのち、健康を守る国民健康保険制度について
- ◎三國 真弓 議員
 - 1 通学区の見直しについて
 - 2 家族介護者支援について
 - 3 母子家庭等の医療費助成について
- ◎今大地 晴美 議員
 - 1 手をつなぎとめるために～介護者支援について～
 - 2 中池見湿地について
 - 3 リラ・ポートについて
- ◎中道 恭子 議員
 - 1 予防接種について
 - 2 災害時における避難所と防災備蓄品について
- ◎松宮 学 議員
 - 1 市立病院駐車場料金について
 - 2 中池見人と自然のふれあいの里について
- ◎中野 史生 議員
 - 1 今年上陸した台風による検証とこれからについて
 - 2 救急急患の休祭日における病院の患者の取り扱いについて
- ◎福谷 正人 議員
 - 1 原子力防災について
 - 2 新ムゼウムについて
 - 3 新幹線開業に向けた対応について
- ◎今川 博 議員
 - 1 敦賀市中池見人と自然のふれあいの里の運営について
- ◎豊田 耕一 議員
 - 1 市営テニスコートの状況について
- ◎川端 耕一 議員
 - 1 子供達の登下校時における見守り隊と地域の安心・安全について

- ◎山本 武志 議員
 - 1 「人道の港敦賀ムゼウム」の運営方式について
 - (1) 9月定例会における審議結果を踏まえた市の方針
 - (2) 新ムゼウム利活用等検討委員会の議論経過と位置付け
 - (3) 開館に向けた今後の進め方
 - 2 シーズンを通じた高齢者の生きがい健康づくりについて
 - 3 認知症みまもり対策について
- ◎前川 和治 議員
 - 1 新幹線開業の受け皿づくりについて
 - (1) 新幹線開業による経済効果
 - (2) 敦賀駅西地区
 - 2 金ヶ崎周辺整備構想について
 - (1) 金ヶ崎周辺整備構想全体
 - (2) 新ムゼウム
- ◎浅野 好一 議員
 - 1 高齢者福祉について
 - (1) 敦賀市の高齢化の現状
 - (2) 介護認定者、受給者の推移と現状
 - (3) 介護事業所整備状況
 - (4) 中長期的見通し、計画
 - (5) 介護給付適正化、保険料
 - (6) 介護予防
- ◎大塚 佳弘 議員
 - 1 SDGs (持続可能な開発目標)の市政への活用について
 - (1) 次期敦賀市総合計画へのSDGsの反映と準備
 - (2) 他市町のSDGsの取り組み状況
 - (3) SDGsによる障がい者就労への期待
 - (4) SDGsにみる敦賀市の環境保全活動(中池見湿地)のあり方
 - 2 敦賀市指定管理者制度の運用改善の進捗について
 - (1) 指定管理者制度の運用ガイドライン作成の取り組み
 - (2) 第三者による評価モニタリング導入の取り組み
 - (3) 金ヶ崎周辺エリアマネジメント方策と期待
- ◎縄手 博和 議員
 - 1 公共施設の利用方法について
 - 2 若年層の市政への参画について
 - 3 小学校のプログラミング教育の推進について
- ◎田中 和義 議員
 - 1 防災対策について
 - 2 環境保全について
 - 3 敦賀駅東エリア整備について

一般質問



林 恵子
(市政会)

アレルギーを持つお子さんへの対応について

問 災害時の避難場所における、アレルギー対応についてどのような現状か。

答 アレルギー対応食は、現状アレルギー対応食を中心におよそ1万食を備蓄している。今後もアレルギー対応製品の継続的な導入を進めていく。アレルギーが目でわかるという対策は、基本的に自助の観点からお願いしたい。

幼児教育・保育の無償化による子育て支援の影響について

問 託児や一時保育は、就労しているが保育園に入園できない方の利用が多く、育児の負担軽減のために預けてくても預けられない現状だと聞かすがが。

答 下の子が落ち着いてからの就労意向、早期の就労意向の方がふえており、本来の目的の育児負担軽減ではなく就労を理由とする方が多い状況である。

一般質問



山本貴美子
(日本共産党
敦賀市会議員
団)

保育料の無償化と給食について

問

きょうだいで別々の保育園に預けざるを得ないケースが30件あるなど、希望する保育園に入れない潜在的待機児童の解消について、敦賀市の計画をお聞きする。

答

少子化の進行状況と保育ニーズ、バランス等から、必要とされる教育、保育の量及び施設整備の必要性の検討等を行い、子ども・子育て支援事業計画に反映していきたい。



問

3歳以上児に主食を提供していないのは市内の幼保連携型認定こども園も含めて20園中、公立で10園と民間1園だけ。ぜひ公立保育園でも3歳以上児の給食に主食を提供すべき。

答

現行の調理施設では設備、スペースの不足など課題が多く、対応が難しい。

一般質問



三國真弓
(愛教会)

通学区の見直しについて

問

敦賀市の公立小中学校では通学区が指定され、原則として指定された学校に通学するものとされている。しかし、市民のさまざまなニーズに応えるためには、学校選択制の導入、指定学校の変更要件の追加、指定要件中「その他」による変更をする場合の基準の明確化など、より柔軟に学校を選択できるようにすべきと考える。敦賀市の見解を問う。

答

敦賀市では学校選択制を導入したことはない。昭和28年から通学区があったと思われるが、統廃合等以外で通学区の検討や変更を、ここ10年間で行ったことはない。敦賀市PTA連合会や校長会で話題に上がっていないため、通学区の変更も考えていない。指定学校の変更要件を改定することは考えていない。個別の相談があった際には、丁寧に対応していきたい。



一般質問



今大地晴美
(無所属)

リラ・ポートについて

問

百条委員会が開かれている今、指定管理の継続については、入湯税の滞納を解消しなければ協定を締結できないと市長名で文書が出されたのはなぜか。

答

回答については、現指定管理者のほうから早く回答を欲しいと言われたので、現時点での敦賀市の考えを伝えた。入湯税については守秘義務があるのでお答えできない。

問

現状を見ていると指定管理者に早く放りだせと言わんばかりの市の対応が続いている。現指定管理者に続けてほしいと本当に思っているのか。

答

基本協定書の32条の、指定管理者の取り消しができるという条項8項目を守らないと指定管理料の予算化も難しい。守ってもらえれば現指定管理者に継続してもらいたいと考えている。

一般質問



中道恭子
(公明党)

災害時における避難所と防災備蓄品について

問

敦賀市における福祉避難所の設置状況と災害時の受け入れの仕方、避難計画について伺う。

答

市では福祉避難所として、事業所44施設を指定している。受け入れについては、基本的には要配慮者を含めた避難者は既に開設している一般の避難所へまず誘導し、その後一般の避難所へとどまることが困難な避難者がいる場合、災害対策本部を通し福祉避難所を開設、家族や支援者の協力を得ながら対象者を福祉避難所へ移送することとしている。

問

防災備蓄品、液体ミルクと使い捨て哺乳瓶の導入状況について伺う。

答

液体ミルクについては7月から試験的に導入し、防災週間において展示や試飲を行った。今後も購入を前に検討していく。使い捨て哺乳瓶については既に継続的に導入しており800個備蓄している。

一般質問



松宮 学
(日本共産党
敦賀市会議
員団)

中池見人と自然のふれあいの里
について

問 平成28年9月に発行している敦賀市中池見湿地保全計画には、団体や研究者等の多様な関係者が主体的に参加して保全を進め、行政がその活動を支援するとのある。ぜひ活動を支援してほしい。また、1年を通して今までと同じ体制での運営を検討していただきたい。

答 今後、施設の具体的運用のあり方の検討や、望ましい中池見の自然のあり方等の課題が続いていく。各主体の自立した活動等と協力しあっていくことで計画を達成すると考えている。

問 令和2年度からスロープカーの運行をやめるとのことだが、中池見に来る高齢者や障害者、ベビーカーを押した母親、散歩コースにしている保育園児が大変困る。継続はできないのか。

答 あらかじめ連絡をもらえれば、柵曲入口から、車で送迎する考えである。天気の良い日は、車椅子を押して柵曲入口から入園することもできる。

一般質問



中野史生
(市政会)

今年上陸した台風による検証と
これからについて

問 敦賀市における治水及び砂防について今後取り組む対策は。また、今年度は敦賀市に対し県の河川改修予算はどれだけか。

答 ハード面の取り組みを加速させ、被害軽減及び迅速な避難行動の強化といったソフト面との両輪で進める必要がある。河川改修事業等と河川維持事業の合計で5億2422万円である。

救急急患の休祭日における病院
の患者の取り扱いについて

問 日曜日における救急患者の受入れで、危機管理上、今後の対策は。

答 救急車で来るとすぐ診てもらえるからとかタクシーのかわりに救急車を呼ぶと、本当に必要な方が困るところを理解していただきたい。また、医師の派遣について継続的に要望を行い、本市救急医療の充実に努める。

一般質問



福谷正人
(市政会)

新幹線開業に向けた施策について

問 たくさんの観光客、人に来ていただくために、敦賀市に今何が足りないのか、何が必要であるのか。ハード、ソフト両面から現在の認識と今後の方針を伺う。

答 新幹線駅を含む駅周辺や金ヶ崎などの観光拠点の整備とあわせ、認知度向上や地域資源の磨き上げ、回遊性の向上が必要と考えている。広報については福井県の認知度が非常に低く全国42位ということで、情報発信の強化を主な柱とし、首都圏メディアへの露出、会員制交流サイト、YouTubeでの発信力を持つインフルエンサーの活用も検討している。

問 行政は広報が下手なので、例えば大手広告代理店に敦賀のコマーシャルを委託することも考えてみては。

答 一つの選択肢だがすぐには判断できない。どうやって広報をやっていくか、どういう実施主体で広報をやっていくか十分検討させていただきたい。

一般質問



今川 博
(市民クラブ)

敦賀市中池見人と自然のふれあいの里の運営について

問 上程された中池見人と自然のふれあいの里の設置、管理に関する条例の内容、運用の細目について中池見湿地保全活用協議会での議論の内容を伺う。

答 民間主体が中池見の保全活用に参加しづらい状況にある。計画では里山資源の管理と活用のルール化を定めているが、そのルール化ができていないため計画を実施するための条例制定が必要と判断した。

問 スロープカーを維持するための財源確保について、これまで国、県よりの補助金確保についての申し入れ状況を伺う。

答 国、県からの補助金等については、担当部署において、随時補助制度の情報収集を行っているが、現在のところ、既存設備の修繕等、通常の維持管理には給付される補助金は見当たらないことから、申し入れは行っていない。

一般質問



豊田耕一
(同志会)

市営テニスコートの状況について

問 総合運動公園テニスコートの使用料及びナイター照明料が、県内他市町と比較してかなり高額であることについて、早急に検討して欲しい。

答 他のスポーツ施設の使用料と照明料のバランスを考慮しつつ、利用者のニーズ等を踏まえ、テニスコートの使用料と照明料について研究していく。

問 近年の気候変動によって、総合運動公園及び花城テニスコートは、冬期間でも使用できる日がかなりあるので使わせて欲しい。

答 近年は冬期間も温暖であることに加え、利用者のニーズも変化している。利用者の希望に応じ一時的な開放を行う等、試験的な運用について関係団体との協議を踏まえ検討する。



一般質問



川端耕一
(愛教会)

子供達の登下校時における見守り隊と地域の安心・安全について

問 見守り隊代表者会議で課題とされた見守り隊の方々の高齢化や担い手不足への市の対応について伺う。

答 各学校、地区においても担い手の確保ということで、会議等の際に校長先生からPTAの方や区長を通じて参加を呼びかけていただく。引き続き今後もそういった対応を考えている。

問 見守り隊の方々の高齢化と新人確保の困難さを補完し、地域の安心、安全を向上するものとして、防犯カメラ設置の補助制度の周知について市の見解を伺う。

答 今年度、県において各区が行う防犯カメラの設置事業に対する補助が創設された。今後は、こうした補助制度があることについて各区の区長等に周知し、各区から設置要件を満たす形で要望があれば、県と連携した事業を検討していきたい。

一般質問



山本武志
(市民クラブ)

「人道の港敦賀ムゼウム」の運営方式について

問 市長提案理由の中で「直営方式を前提」とあったが決定なのか。また、ムゼウムに込める市の思いや情報を市民に知っていただくための取り組みを伺う。

答 令和2年秋の開館を目指す中で、直営方式を前提として準備を進めていく。今後も広報等の媒体を通じて周知を図るほか、内覧会にて多くの方にムゼウムにお越しいただくなど、開館をゴールとせず粘り強く継続していく。

シーズンを通した高齢者の生きがい健康づくりについて

問 高齢者の健康づくりやお互いの見守りの観点から総合運動公園及びびりラ・グリーンズのグラウンド・ゴルフ場の冬期利用を可とするよう要望する。

答 本市には多くのスポーツ施設があるため、それぞれの利用団体等と協議を行い、各施設の整合性を図りつつ費用面も含めて検討していく。

一般質問



前川和治
(愛教会)

新幹線開業の受け皿づくりについて

問 新幹線敦賀開業の終着駅効果はいつまでか。また、終着駅としてどれだけ乗降客数が増えるのか。

答 現在のところ終着駅となる期間としては23年間とはなっているが早まる可能性もある。現在は年間284万人。新幹線開業後は340万人と見込んでいる。年間で約56万人の増加を見込んでいる。

金ヶ崎周辺整備構想について

問 敦賀駅から敦賀港駅までの線路については、今は新幹線の工事などで使用できない状況となっているが、将来的に活用することが決まれば、敦賀駅から敦賀港駅まで電車で走らせることは可能か。

答 物理的には可能である。



一般質問



浅野好一

(市政会)

高齢者福祉について

問

高齢者が急性期医療での治療後、在宅・居宅サービスでの生活をしている中、何らかの理由で在宅での慢性医療、介護が受けられなくなった高齢者の公的施設「介護医療院」の考えは。

答

「介護医療院」については、第8期以降の介護保険事業計画で必要性や事業者の整備意向調査等を行い、計画策定委員会において整備について協議を行っていききたい。

問

高齢者が介護の必要な状態にならないための介護予防について、今後どのような事業展開をしていくのか。

答

介護予防については、理学療法士、作業療法士等の支援をいただきながら取り組んでいる。介護予防・日常生活支援総合事業では、生活機能改善や重症化予防等を目的として個人の状態に合わせた支援を行う。また、介護予防教室での体力改善や、今年度からは介護予防状態になる前段階であるフレイル予防等にも取り組んで行く計画である。

一般質問



大塚佳弘

(公明党)

SDGs(持続可能な開発目標)の市政への活用について

問

SDGsと障害者就労との関係で、今後考えているSDGsの優先課題でもある、あらゆる人々の活躍の推進と、障害者就労との関係について聞く。

答

SDGsの中で障害者を含めた改善等に関する項目がある。日本はこの目標を実現するために、実施指針の優先課題として「あらゆる人々の活躍の推進」を掲げて、障害者の雇用・就労及び経済的自立の支援などの施策が実施されると認識している。本市の障害者就労支援は、自立支援協議会の専門部会の中で就職面接のトレーニングや、就労している人と意見を交換するジョブガイダンスを行うほか、就労移行支援事業など障害のある人の就労支援を行う。障害のある人の就労を促進することで、SDGsの目標である誰ひとり残さない社会の実現につながることを期待している。

一般質問



縄手博和

(市政会)

公共施設の利用方法について

問

ウェブ上から直接公共施設の予約ができるようなシステムの導入は考えているか。

答

先進導入自治体を参考にしつつ、まずは予約受付における課題等の抽出を行い研究していききたい。

小学校のプログラミング教育の推進について

問

来年4月から始まる新学習指導要領のプログラミング教育に対する敦賀市の見通しについて尋ねる。

答

プログラミング教育とは、これからの情報化社会の中で生きる子どもたちが将来どのような職業につくとしてもコンピュータを理解し活用していく力を身につけることであり、自分の考えたことをコンピュータを使って実現していく力を育成するものである。今後は、各学校のカリキュラムがより効果的に機能するよう校長先生方と連携を密にして本市の子どもたちの学びを支えていきたい。

一般質問



田中和義

(市政会)

防災対策について

問

昨年の台風による被害で長期停電が発生したことを踏まえ、停電時の防災ラジオ不感地域解消の対応についてお聞きする。

答

防災メールや緊急速報メール等ほかの手段により緊急情報を受信いただきたい。

問

防災ラジオの不感地域解消対策には多額の費用がかかるというところだが、総務省が関連するラジオ中継局の整備を推進する事業、放送ネットワーク災害対策促進税制、放送ネットワーク整備支援事業、民法ラジオ難聴解消支援事業、地上基幹放送等に関する耐災害性強化支援事業等、これらの国の支援事業は適合しないのか。

答

単純に財源の問題もあるが、アンテナを立てて不感地帯をカバーするとき、ほかのエリアと競合してまた新たな不感地帯ができるという技術的な面があるようなので、それも含めて研究させていきたい。

審議結果一覧

令和元年第6回臨時会では、一般・人事議案4件、報告議案1件が審議されました。また、令和元年第7回定例会では、令和元年度各会計補正予算案7件、条例案8件、一般・人事議案12件、請願3件、議会提出議案1件が審議されました。

各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

| 件名 | 付託委員会 | 結果 |
|---------------------------------------------|-------|----|
| 令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第7号） | 予算決算 | 可決 |
| 令和元年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部及び施設勘定の部）特別会計補正予算（第1号） | 予算決算 | 可決 |
| 令和元年度敦賀市介護保険特別会計補正予算（第3号） | 予算決算 | 可決 |
| 令和元年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第2号） | 予算決算 | 可決 |
| 令和元年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第1号） | 予算決算 | 可決 |
| 令和元年度敦賀市水道事業会計補正予算（第2号） | 予算決算 | 可決 |
| 令和元年度敦賀市下水道事業会計補正予算（第2号） | 予算決算 | 可決 |

2 条例

| 件名 | 付託委員会 | 結果 |
|-------------------------------------------------------------------|-------|----|
| 敦賀市中池見人と自然のふれあいの里の設置及び管理に関する条例制定の件 | 総務民生 | 可決 |
| 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 | 総務民生 | 可決 |
| 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正の件 | 総務民生 | 可決 |
| 職員の給与に関する条例等の一部改正の件 | 総務民生 | 可決 |
| 敦賀市グラウンド・ゴルフ場の設置及び管理に関する条例の一部改正の件 | 産経建設 | 可決 |
| 敦賀市病院事業の設置等に関する条例の一部改正の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 敦賀市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 敦賀市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正の件 | 文教厚生 | 可決 |

3 一般・人事案件

| 件名 | 付託委員会 | 結果 |
|----------------------------------|-------|----|
| 角鹿小中学校校舎新築工事請負契約の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 角鹿小中学校校舎新築電気工事請負契約の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 角鹿小中学校校舎新築機械工事請負契約の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 総合運動公園陸上競技場改修工事その2請負契約変更の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 公立大学法人敦賀市立看護大学の第2期中期目標を定める件 | 総務民生 | 可決 |
| 指定管理者の指定の件 | 産経建設 | 可決 |
| 総合運動公園陸上競技場改修工事その3請負契約の件 | 文教厚生 | 可決 |
| 新幹線駅前広場整備事業用地取得の件 | 産経建設 | 可決 |
| 敦賀市庁舎建設工事（建築）請負契約の件 | 総務民生 | 可決 |
| 敦賀市新庁舎自立型水素エネルギー供給システム製作工事請負契約の件 | 総務民生 | 可決 |
| 敦賀市公平委員会委員の選任につき同意を求める件 | - | 同意 |
| 敦賀市職員懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求める件（5件） | - | 同意 |

4 報告

| 件名 | 結果 |
|------------------------------------|----|
| 専決処分事項の報告の件（令和元年度敦賀市一般会計補正予算（第6号）） | 承認 |

議会提出議案

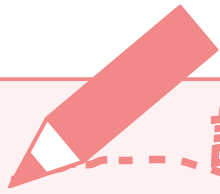
| 件名 | 付託委員会 | 結果 |
|-----------------------------------------------|-------|----|
| 敦賀きらめき温泉リラ・ボートの指定管理に係る調査特別委員会の調査経費の追加に関する決議の件 | - | 可決 |

請願

| 件名 | 付託委員会 | 結果 |
|------------------------------------|--------|-----|
| 国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願 | 総務民生 | 不採択 |
| 老朽原発再稼働に関する請願 | 原子力発電所 | 不採択 |
| 不正資金還流の真相究明をもとめる請願 | 原子力発電所 | 不採択 |

本会議の生中継と録画映像がパソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでも視聴できるようになりました！「Google chrome」・「Microsoft Edge」・「Fire Fox」で視聴することができます。





議会日誌

令和元年 10 月 9 日以降の主な議会活動の紹介です。

| | | |
|----------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 10 月 | 16 日 (水) | 産経建設常任委員会行政視察 (～ 18 日) |
| | 21 日 (月) | 各派代表者会議 |
| | 23 日 (水) | 総務民生・文教厚生常任委員会行政視察 (～ 25 日) |
| | 28 日 (月) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会、福井県市町議会議員合同研修会 |
| | 30 日 (水) | 広報広聴委員会 |
| 11 月 | 5 日 (火) | 各務原市・敦賀市議会親善交流会 (～ 6 日) |
| | 7 日 (木) | 議員説明会 |
| | 8 日 (金) | 議会運営委員会 |
| | 14 日 (木) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会、議会報告会 |
| | 15 日 (金) | 議会運営委員会、全員協議会、本会議 (臨時会)、文教厚生常任委員会 |
| | 19 日 (火) | 議会運営委員会、広報広聴委員会 |
| | 25 日 (月) | 各派代表者会議 |
| | 26 日 (火) | 議会運営委員会、全員協議会、本会議 (12 月定例会開会) |
| 12 月 | 27 日 (水) | 予算決算常任委員会全体会・分科会 |
| | 29 日 (金) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| | 4 日 (水) | 議会運営委員会、本会議 (一般質問) |
| | 5 日 (木) | 本会議 (一般質問) |
| | 6 日 (金) | 本会議 (一般質問) |
| | 9 日 (月) | 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会 |
| | 10 日 (火) | 原子力発電所・新幹線対策特別委員会 |
| | 11 日 (水) | 市庁舎建設対策特別委員会、広報広聴委員会 |
| | 12 日 (木) | 予算決算常任委員会全体会 |
| | 17 日 (火) | 議会運営委員会、全員協議会、本会議 (12 月定例会閉会)、総務民生常任委員会 |
| 1 月 | 20 日 (金) | 議員説明会 |
| | 26 日 (木) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| | 17 日 (金) | 議員説明会、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| | 23 日 (木) | 福井県市議会議長会議員研修会 |
| | 24 日 (金) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| 2 月 | 29 日 (水) | 広報広聴委員会 |
| | 3 日 (月) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| | 4 日 (火) | 議員研修会 |
| | 5 日 (水) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会、気比高校生との意見交換会 |
| | 7 日 (金) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| | 10 日 (月) | 議員説明会 |
| | 18 日 (火) | 議会運営委員会、敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会 |
| | 19 日 (水) | 議員説明会 |
| 25 日 (火) | 敦賀きらめき温泉リラ・ポートの指定管理に係る調査特別委員会、全員協議会、本会議 (3 月定例会開会) | |

敦賀市議会ホームページにアクセス！

以下のような情報を公開しています

- ・過去 (平成 22 年から) の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

http://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/index.html

敦賀市議会 検索

電話… 22-8157
Eメール… gikai@ton21.ne.jp

住所… 敦賀市中央町 2 丁目 1 番 1 号

発行… 敦賀市議会
委員… 山本 貴美子
委員… 豊田 耕一
委員… 三國 真弓
委員… 林 真恵子
委員… 山本 武志
委員… 今井 晴美
委員… 中野 恭子
委員… 浅野 好子
副委員長… 中野 晴美
広報広聴委員長… 浅野 好子

編集委員



3 月定例会の日程 (予定)

| 2 February | | 3 March | | | | | 2020 |
|------------|-----------------------|------------------------|---------------------|-------------|---------------------|-----|------|
| Sun | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat | |
| 23 | 24 | 25 本会議 (議案説明・質疑) | 26 予算決算 常任委員会 | 27 | 28 予算決算 常任委員会 | 29 | |
| 1 | 2 予算決算 常任委員会 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| 8 | 9 本会議 (採決・代表質問) | 10 本会議 (代表・一般質問) | 11 本会議 (一般質問) | 12 常任委員会 | 13 特別委員会 | 14 | |
| 15 | 16 特別委員会 | 17 予算決算 常任委員会 | 18 | 19 | 20 | 21 | |
| 22 | 23 本会議 (報告・採決) | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | |